令和５年度

美術Ⅱ

１１ 新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	添削回数	最低出席時数	試験回数
選択	2	6	8	0

教 科 書	学習書・副教材等
美術２（光村図書）	美術資料～新潟の美術（秀学社）

学 習 目 標

・美術の幅広い創造活動を通して生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
・表現の意図と工夫、個性豊かに発想・構想するなかで自己の価値観を高め、美術に対する見方を深める。

学 習 内 容

１．人物を表現する（選択作品：A 人物画　B 人物像）	レポート１
２．版画表現の可能性（スチレン回転版画）	レポート２
３．漫画表現の技法・アニメーションの歴史（パラパラ漫画）	レポート３
４．住まいをデザインする・椅子のデザイン（紙で作る椅子）	レポート４
５．簡易本作り（「自分」をテーマにした本）	レポート５
６．祈りの場を彩る・トータルデザインを考える（鑑賞）	レポート６

学 習 方 法

【スクーリング】
・レポート・教科書・美術資料（副読本）、筆記用具を持参すること。
・内容は課題の解説、制作の手順、鑑賞、実習（すべてのスクーリングでできるわけではない）を行う。
※実習は制作のヒントや技法を体験する実技が中心となる（制作内容や制作手順が分かりやすくなる）。

【レポート作成】
①記述課題・・・問題文をよく読み、空欄、未記入がないように解答すること（空欄があると不合格）。
②実技課題・・・課題ごとに異なる表現技法を理解し、作品のテーマやねらいを考えて制作すること。
※提出する作品は自分で考え、制作すること。アニメや漫画の模倣やネットのフリー画像を自分の作品として提出することはできません（著作権侵害、盗作の作品は不合格）。

【放送視聴】
・指定の番組一回分をすべて視聴して、「放送視聴報告用紙」に番組全体について空欄なくまとめ､感想を書きレポートに添付して提出する。添付のレポートが合格し視聴時間、報告内容が十分の場合は出席時数となる。
※番組を倍速で視聴する、番組内容の一部しか書かれていない等内容不十分のものは時数にならない。

評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技術を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

以上の観点を踏まえ、レポートを評価します。空欄があった場合や課題の不足、出題された条件に合わない場合は不合格となります。また、著作権侵害、盗作の作品は不合格とします。

担当者より一言

美術では絵画・彫刻、デザイン、映像メディア、鑑賞など様々な学習を通じて美術の経験を広げ、美術を楽しむ心を育ててください。得意、不得意にかかわらず、制作意図や表現を工夫し、時間をかけて作品作りに取り組んでください。課題制作で分からないことは気軽に質問してください。